

表11 人の健康の保護に関する環境基準（平成21年11月改定）

項目	基準値	測定方法
カドミウム	0.01mg/ℓ 以下	日本工業規格K0102（以下「規格」という。）55に定める方法
全シアン	検出されないこと。	規格38.1.2及び38.2に定める方法又は規格38.1.2及び38.3に定める方法
鉛	0.01mg/ℓ 以下	規格54に定める方法
六価クロム	0.05mg/ℓ 以下	規格65.2に定める方法
砒素	0.01mg/ℓ 以下	規格61.2、61.3又は61.4に定める方法
総水銀	0.0005mg/ℓ 以下	付表1に掲げる方法
アルキル水銀	検出されないこと。	付表2に掲げる方法
P C B	検出されないこと。	付表3に掲げる方法
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2又は 5.3.2に定める方法
四塩化炭素	0.002mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2、 5.3.1、5.4.1又は 5.5に定める方法
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2、 5.3.1又は 5.3.2に定める方法
1,1-ジクロロエチレン※	0.1mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2又は 5.3.2に定める方法
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2又は5.3.2に定める方法
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2、5.3.1、5.4.1又は 5.5に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2、5.3.1、5.4.1又は 5.5に定める方法
トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2、5.3.1、5.4.1又は 5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2、5.3.1、5.4.1又は 5.5に定める方法
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2又は 5.3.1に定める方法
チウラム	0.006mg/ℓ 以下	付表4に掲げる方法
シマジン	0.003mg/ℓ 以下	付表5の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ 以下	付表5の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	0.01mg/ℓ 以下	日本工業規格K0125の 5.1、 5.2又は 5.3.2に定める方法
セレン	0.01mg/ℓ 以下	規格67.2、67.3又は67.4に定める方法
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ 以下	硝酸性窒素にあつては規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5に定める方法、亜硝酸性窒素にあつては規格43.1に定める方法
ふつ素	0.8mg/ℓ 以下	規格34.1に定める方法又は規格34.1(c)（注(6)第三文を除く。）に定める方法（懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあつては、これを省略することができる。）及び付表6に掲げる方法
ほう素	1mg/ℓ 以下	規格47.1、47.3又は47.4に定める方法
1,4-ジオキサン※	0.05mg/ℓ 以下	付表7に掲げる方法
備考		
1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。		
2 「検出されないこと」とは、測定方法の項に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。		
3 海域については、ふつ素及びほう素の基準値は、適用しない。		
4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格43.2.1、43.2.3又は43.2.5により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。		
※ 平成21年11月30日に環境基準が改正され、1,1-ジクロロエチレンの基準値が0.02mg/ℓ から0.1mg/ℓ に見直され、1,4-ジオキサンが新規追加（要監視項目から移行した。）となった。		